

タイトル:可逆グラフアルゴリズム

目的

本研究では,はじめにすでに解析された可逆線形探索とか逆深さ優先探索の解析方法の改善を行う.参考文献[1][2]では,解析を行ごとに行われている.しかし,計算量に多く関わる重要な演算を決めその演算の計算量を求めるほうが解析の効率が良いと考えられる.解析の方法の変更による結果の変化を明確にする.また,連結無向グラフの深さ優先探索の既に可逆化された一般解法と比較してより効率的な解法を提案すること,連結無向グラフの幅優先探索の一般解法による可逆化と手動による効率的な解法を提案することをを目標とする.可逆化したプログラムと効率化したプログラムの解析を行い,トレードオフの関係を明確にする.

先週からの進捗報告

背景の修正、追加

目的に解析の改善を追加

一般解法追加

来週までにやること+疑問点

卒論の形式確認し、なおす

深さ優先探索の手順をかく+引用可能か

3章の解析方法の改善を書き進める